

平成 28 年度 第 7 回柿崎区地域協議会次第

日時：平成 28 年 9 月 28 日（水）午後 1 時 30 分

場所：柿崎コミュニティプラザ 3 階 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協議事項

(1)柿崎区地域協議会の今後の取り組みの方向性について [資料 No. 1]

5 報告事項

(1)会長からの報告事項

・視察研修について [資料 No. 2]

(2)市からの報告事項

・地域おこし協力隊について [資料 No. 3]

6 その他

(1)次回（第 8 回地域協議会）の開催日について

・日 時：平成 28 年 月 日（ ） 午前・午後 時 分から

・会 場：

7 閉 会

柿崎区の課題（第6回地域協議会において発言のあった事項）

内	容
人口減少対策	
柿崎区で行う事業の説明と周知	
前期部会の総括	
今年度の巡回型地域協議会の開催の有無	
柿崎区内の観光資源等を把握し広く発信	
柿崎城址を桜の広場として整備	
児童公園の遊具の修繕	
黒川神社のトイレと草刈り	
柿崎総合運動公園の芝生広場の整備	
高校・大学スポーツ部の合宿の積極的な誘致、受入態勢の強化	
柿崎区が一つにまとめられるようなイベントの開催	
柿崎地区公民館学習室の充実	
子どもを中心とした音楽会の開催	
柿崎地区公民館分館（下黒川、黒川、川西）の見直し	
テニスのまち柿崎としての機運醸成及びアピール	
旧黒川小学校跡地を公園に整備	
遺跡出土品を管理する施設の整備	

視察研修（案）

目的

特長的な取り組みを行う農業団体を視察し、当区の基幹産業である農業及び中山間地域振興の課題に関する協議などの参考とする。

実施日

10月27日（木）

視察先

①久保田農場（上五貫野）

トマト中心のハウス野菜の栽培、水稲育苗ハウスを利用したブドウ栽培などを行っている。トマトは農協や市場へ出荷せず、契約先のみ限定して生産を行うなど、独自の販路を築いている。

②竹直生産組合（吉川区）

集落型法人であり、集落唯一の担い手として積極的な農業経営を展開している。大豆を中心に米、トマト等の栽培を行っており、特に大豆の生産に関しては、全国豆類経営改善共励会の全国審査会において農林水産大臣賞を受賞するなど、高い評価を得ている。

行程

9:00～9:30	事前学習「上越市の農業の現状」（農政課）
10:00～11:00	久保田農場
11:30～12:50	あるるんの杜（視察と昼食） <u>昼食代1,500円自己負担</u>
13:30～14:30	竹直生産組合
15:00～15:30	検討会「柿崎区農業の課題」

地域おこし協力隊の配置について

1 柿崎区に地域おこし協力隊配置の経緯

総務省の地域おこし協力隊制度は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地域において、都市地域等の人材を新たな担い手として受け入れ、3年後の定住・定着とともに地域の維持・活性化を図るものです。

黒川・黒岩地区は、高齢化が進み農業を継続することが困難な状況になっていることから、柿崎区中山間地域農業振興会では、農地の維持、集落の維持と活性化を図るため、3年前から地域おこし協力隊の導入を検討してきました。

地域おこし協力隊2人の導入を目指して平成27年12月から募集を開始し、東京で開催される新・農業人フェアや地域おこしフェアへの参加、いなか体験ハウスでの体験や現地見学希望者の受け入れ等、PR活動に積極的に取り組んできました。

8月に選考試験を実施した結果、次のとおり地域おこし協力隊1人を採用します。

2 隊員紹介

- ・氏名：GARCÍA BARRANCO EMILIO (ガルシア バランコ エミリオ)
- ・年齢：36歳
- ・性別：男性

3 採用年月日

- ・平成28年10月1日

4 配置先

- ・活動範囲は、柿崎区中山間地域農業振興会を構成する11集落
- ・構成集落：東横山、南黒岩、北黒岩、松留、上中山、猿毛、水野、下牧、平沢、芋島、米山寺

5 主な業務

①農業振興支援

- ・就農に向けた農作業と米販売の補助
- ・特産品の採取や栽培、加工、販売等の補助

②地域振興支援

- ・地域おこしイベント開催支援や地域団体活動への参加・協力

③生活支援

- ・道普請、用水普請、祭り準備など、集落の共同作業手伝い